

2023年3月期（2022年度）決算および 2024年3月期（2023年度）業績予想について

当社は、本日、2023年3月期（2022年度）決算および2024年3月期（2023年度）業績予想についてとりまとめました。

【連結経営成績について】

当年度は、当社において、節電の影響や前年度に比べて冬場の気温が高く暖房需要が減少したことなどから、販売電力量（小売）が減少するとともに、販売電力量（卸売）が減少したことなどから、販売電力量（全体）は、818億kWh（前年度比 2.7%減）となりました。

売上高は、燃料費調整額が増加したことなどから、3兆72億円となり、前年度に比べ、9,027億円（42.9%）の増収となりました。

経常損益は、燃料価格の高騰や円安の影響に加え、卸電力取引市場の価格の上昇により電力調達コストが大幅に増加したことなどから、前年度に比べ1,500億円減少し、1,992億円の損失となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純損益は、前年度に比べ191億円減少し、1,275億円の損失となりました。

この結果、営業損益および経常損益は過去最大の損失となり、親会社株主に帰属する当期純損益を含めて、2年連続の赤字となりました。

このように、財政状態が急激に悪化しており、安定供給に必要となる電力設備の維持・更新に充当する資金などを社債や借入金で調達したことから、有利子負債残高は、前年度に比べ6,153億円増加し、過去最大の3兆3,756億円となりました。これにより、自己資本比率は前年度に比べ4.3ポイント悪化し、連結決算の開始以降、過去最低の10.5%となりました。

なお、当年度における連結キャッシュ利益*は1,366億円となりました。

決算の概要などについては、別紙のとおりです。

以上

※ 連結キャッシュ利益

東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」において、「連結キャッシュ利益」を財務目標として設定している。

（2024年度に3,200億円以上を目標としている）

「連結キャッシュ利益」＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 ＋ 核燃料減損額 ＋ 持分法投資損益
（営業利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響を除く）

（別紙1）決算・業績予想ダイジェスト

（別紙2）2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）